

【平成30年7月20日】「平成 29 年度地盤工学会賞を受賞しました。」

平成30年6月6日、公益社団法人地盤工学会より、平成29年度地盤工学会賞地盤環境賞を受賞いたしました。

■授賞名称

『100万m³クラスの大規模・再生活用事業を対象とし、新たに強化・構築したETC車両認証による電子マニフェストを活用した、建設汚泥統合管理システムを開発・運営した「資源循環型共同プロジェクト」モデル事例』

■授賞者

阪神高速道路株式会社/阪神高速技術株式会社/一般財団法人関西環境管理技術センター
東洋建設株式会社/大阪ベントナイト事業協同組合/一般財団法人地域地盤環境研究所
勝見 武（京都大学大学院）/嘉門 雅史（一般社団法人環境地盤工学研究所）

■授賞理由

本業績は、阪神高速道路の大和川線事業（道路事業）から発生する大量の建設汚泥を大阪市の土地造成（港湾事業）に再生利用するという異なる事業間で連携・共同化を進めた全国初の事業スキームであり、事業コストの削減やCO₂の削減、さらには最終処分場の延命化など、社会的貢献が非常に高い。また技術的には、ETCとGPSを活用したリアルタイムの車両監視システムにより大量の建設汚泥のトレーサビリティの確保を可能とし、総合的な建設マネジメントとして開発・運用されている点の独創性が高く評価された。今後の大規模な公共工事で大量に発生する建設発生土や汚泥の再生利用のあり方を示す事例として、本業績は地盤環境賞にふさわしいと認められた。

■授賞式



一般財団法人関西環境管理技術センターは、本受賞に関わるトレーサビリティ管理の構想から設計開発、運用保守まで担って参りました。今後も資源循環型社会の実現に向けて、多くの公共工事等で展開して参りたいと考えております。